

2025 年度 埼玉県経営品質賞 推進賞 受賞企業紹介

株式会社モリチュウ

当社は1942年の創業以来、鋳物の街・川口で鋳造から加工・組立までの一貫体制を強みに、業務用厨房部品や景観材などの製造を手掛けてまいりました。「ごくごく普通のことを当たり前」に、環境整備や勉強会を通じて地道に組織風土を作り変え、お客様から「モリチュウさんは裏切らない」とお言葉をいただける誠実なものづくりを追求しています。

激変する市場環境に対応し、さらなる変革を目指す中で、私たちは埼玉県経営品質賞への申請に挑戦いたしました。日頃の取り組みを「経営の設計図」として客観的に棚



卸しし、審査員の方々と対話を重ねるプロセスは、自社の歩みと強みを深く見つめ直す大変貴重な機会となりました。

この申請を通して、私たちは「モリチュウらしさという潜在価値を発見した」と強く実感しています。過去の危機を乗り越えて培われた粘り強い実行力、3D技術の活用といった独自の強み、そして面倒なことを丸ごと引き受ける親身な対応力こそが、私たちの真の資産でした。

今回の受賞はゴールではなく、私たちが目指すべき「短納期でお客様の開発を加速させるパートナー」へのスタートラインです。いただいた提言を真摯に受け止め、目指すべき未来の情景を「経営の指針」としてしっかりと明文化し、未来への戦略的投資と組織変革を一段と力強く推進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



「経営の設計図」作成支援講座（4日間）

【8月27日（木）】さいたま商工会議所 業務本部会議室（ソニックシティビル8F）
【9月25日（金）】オンライン（ZOOM）
【10月28日（水）】オンライン（ZOOM）
【11月26日（木）】さいたま商工会議所 業務本部会議室（ソニックシティビル8F）
■各回開催時間 13：30～16：30 ■参加費 会員 40,000円/人
■講師：株式会社エンライト 代表取締役 高橋 清 氏

お申込みはこちら



2018年に経営品質協議会が創設した「経営デザイン認証」は、2026年版に作成項目が改訂されました。本講座はそれを受けて再構成した最新版です。

本講座は、これからの「経営の設計図」を作成し、理念、戦略、計画、目標を一つのストーリーとして、経営の要諦を「見える化」し、「ありたい姿」への道筋を描くことを目的としています。既知の経営情報を集めて計画を作るとい

うものとは一線を画しています。これからの「経営の設計図」は、はじめに自組織の①顧客・市場、②顧客価値、③組織能力、④価値提供モデルについての確認を行っていきます。それから、⑤-1これまでの物語、⑤-2強みと価値観の再発見、⑤-3

す。自社の強みや価値観に焦点をあてることで、現状の延長線上にとらわれない「ありたい姿」を描くことを目指します。そして、ありたい姿から将来の「組織能力」「顧客・市場」「顧客価値」をより深く見つめ直すことで、具体的にこれからの経営の道筋を明らかにしていきます。それが、⑥変革の道筋と⑦変革目標です。

いずれの項目もA4版1ページのフォーマットに記述していき、最終的に10ページの「経営の設計図」の原案を完成させます。

講座テキスト『経営の設計図作成ガイドブック埼玉版』に沿って進めていきます。修了後に「経営の設計図」原案を提出すると、講師から評価レポートとしてフィードバックが受けられます。

埼玉県経営品質協議会 2026 年 7 月 No.49

発行：埼玉県経営品質協議会
https://www.sqa-net.com
〒330-9626 さいたま市大宮区桜木町 1-7-5
ソニックシティビル8階 さいたま商工会議所内
TEL 048-641-0084 FAX 048-643-2720

…… CONTENTS ……

- 2025 年度「埼玉県経営品質賞」受賞企業決定 総会及び顧客価値経営フォーラム開催報告
- 代表幹事挨拶
- 顧客価値経営フォーラム講演会受講レポート
- 埼玉県経営品質賞受賞企業紹介
- 「経営の設計図」作成支援講座

埼玉県経営品質賞受賞企業決定！ 総会及び顧客価値フォーラム開催報告

■開催日：令和8年5月21日（木）

■場 所：さいたま商工会議所会館2階ホール

通常総会では、令和7年度事業報告・決算報告及び令和8年度事業計画（案）・収支予算（案）を主な議題として協議し、上程議案はすべて原案通り承認されました。

フォーラムでは、まず埼玉県経営品質賞表彰式が行われ、通算10社目となる、松井産業株式会社が知事賞を受賞。また株式会社モリチュウが推進賞を受賞されました。来賓の埼玉県産業労働部長 萩原 啓氏、賞委員長の国立大学法人 埼玉大学学長 重原孝臣氏、小松代表幹事より表彰状・記念品が授与されました。

その後、松井産業株式会社 取締役 松井宏之氏、専務 松井健司氏、取締役 山田雅貴氏ならびに株式会社モリチュウ 代表取締役 森 雄児氏が登壇され、それぞれ知事賞、推進賞の受賞コメントをいただき、受賞報告会では企業理

念や経営品質向上の取り組み事例など貴重な発表が行われました。

続いて、日本経営品質賞大賞を受賞された株式会社ワイズマート 代表取締役社長 吉野秀行氏を講師に迎え、『コンパクトストアに磨きをかけ社員が主役の「小さな経営者」 集団を目指す』をテーマに、ご講演いただきました。

「ありたい姿」が生まれた背景や実践活動、「小さな経営者」の育成や独自の評価制度など、興味深い内容に来場者は皆熱心に聴講され、大変有意義なフォーラムとなりました。



知事賞受賞 松井産業（株）の皆様

小松代表幹事挨拶



埼玉県経営品質協議会
小松 君恵 代表幹事

過日開催された「顧客価値経営フォーラム」に於いて、松井産業株式会社が知事賞、株式会社モリチュウが推進賞を受賞されました。昨年に続き、知事賞の受賞企業が誕生したことは、非常に喜ばしく、心よりお祝い申し上げます。

さて、中小企業を取り巻く経営環境は、中東情勢の不安定化によるエネルギー・原材料価格の上昇、物価高、人手不足、人口減少など、多くの課題に直面しています。先行きが見通しにくい時代だからこそ、変化に対応するだけでなく、自ら未来を創造する経営が求められています。

埼玉県経営品質協議会は、顧客価値の創造、社員の成長、組織能力の向上、そして地域社会への貢献を重視する経営品質向上活動を通じて、多くの企業の持続的発展を支援してまいりました。当会の最大の強みは、優れた企業の実践事例から学び合い、業種や規模を超えて互いに切磋琢磨しながら卓越した経営を目指すことにあります。

経営品質向上活動は、単なる経営手法の習得ではありません。企業の存在意義を見つめ直し、組織の力を高め、顧客や地域から選ばれ続ける企業づくりに挑戦する取り組みです。

今後も当会の活動をより多くの皆様に知っていただき、ご活用いただくことで、卓越した経営を実践する企業の輪を広げてまいります。その一社一社の成長が、埼玉県の地域経済の発展と豊かな未来につながるものと確信しております。

引き続き、皆様のご理解とご参加を心よりお願い申し上げます。

顧客価値経営フォーラム講演会 受講レポート

日本経営品質賞大賞受賞企業 株式会社ワイズマート

～コンパクトストアに磨きをかけ社員が主役の「小さな経営者」 集団を目指す～

2025 年度日本経営品質賞大賞（大企業部門）を受賞した株式会社ワイズマート代表取締役社長・吉野氏による講演が行われました。

同社は東京ベイエリアを中心に 42 店舗を展開する食品スーパーで、売場面積は業界平均の約 1/3 ながら、坪効率は業界平均の 2.5 倍という驚異的な数字を誇ります。吉野社長は「小さな店を磨く以外に生き残る方法はない」と語り、その根幹を支える三位一体の仕組みをご紹介いただきました。

第一の柱は「店主集団経営」です。各部門のチーフが仕入れ・値付け・パート採用まで全権を担う、徹底した権限移譲を実践しています。鮮度管理と廃棄リスクが常に隣り合わせの生鮮惣菜ビジネスでは「本部が決めることは不可能」と断言され、現場への信任こそが競争力の源泉であると強調されました。

第二の柱は「徹底した情報開示（見える化）」です。全て自社開発のシステムで 3,310 万枚のレシートデータを管理し、5 営業日以内に 256 チーム全ての店別・部門別損益を全社員に開示しています。「知らないことの方が社員は不安になる。悪い時こそ開示し続けることで信頼が生まれる」というお言葉が大変印象的でした。

第三の柱は「評価・育成制度」です。社長自らが年間 500 回以上店舗を巡回し、良い仕事をその場で称えます。全社員と年 2 回の個別面談を行い、賞与支給明細書を詳細なフィードバックツールとして活用するこの仕組みはビジネスモデル特許を取得しており、10 年連続離職率 5% 以下という成果につながっています。

「自責で考え、チームで稼ぐ小さな経営者を育てること。会社を大きくするより強くすること」——この言葉に、業種を超えて通じる経営の本質を深く感じた講演でした。



【講師】株式会社ワイズマート
代表取締役社長 吉野 秀行 氏



ワイズマート店内

【会社概要】

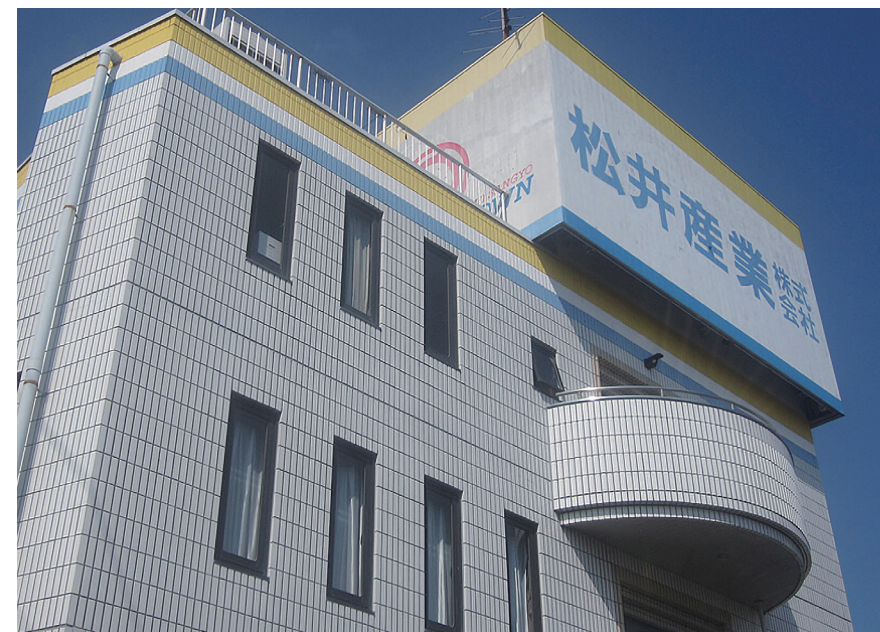
本社住所：千葉県浦安市当代島 1-2-25
TEL：047-352-0111 設立：昭和 44 年 5 月
URL：<https://www.ysmart.co.jp>



講演会の様子

2025 年度 埼玉県経営品質賞 知事賞 受賞企業紹介

松井産業株式会社



私たち松井産業株式会社は、埼玉県三郷市・吉川市を拠点に、新築、リフォーム、不動産仲介、賃貸管理、資産活用などを手がける「住まいと暮らしの総合生活産業」です。1922（大正 11）年に創業し、現在は「信用と和ひとすじに」を経営理念に掲げ、地域のお客様のライフステージに寄り添い、安全・快適で持続可能な住環境を提供し続けています。

当社の歴史は、呉服販売をお米との物々交換で提供する地域密着のモデルから始まりました。1966 年のニューカッスル病大流行による経営危機時にも、苦境の農家へ無理な取り立てをせず誠実さを貫いた姿勢が信頼を呼び、倒産の危機を乗り越えました。その後、都市化に伴う土地活用ニーズを捉え、住宅・倉庫建設へとシフト。1995 年には自社施工体制を確立し、毎週火曜の「安全品質パトロール」による現場状況の LINE リアルタイム報告など、施工の透明性と安心感を高めてきました。

当社は地域とともに「暮らし続けたい」社会をつくることをありたい姿に据え、3 つの重点テーマを追求しています。第 1 の柱が「社会課題解決（社会的責任）」です。少子高齢化が進む地域において、新築住宅の耐震等級 3 相当・免震工法の標準化や、耐震・断熱を 2 倍にする性能向上リノベーションの推進により、災害から命を守る「防災シェルター」としての住宅を供給。また、行政と連携したフレイル予防教室（百年健康倶楽部）の開催や、放置空き家を

優良資産へ変える「空き家相談窓口」の運営、地域清掃などを通じ、持続可能な街づくりに貢献しています。

第 2 の柱は「顧客ニーズに合わせた柔軟な対応」です。家を単なる消耗品ではなく「育てる資産」と再定義し、介護予防住宅の提案や相続・資産活用サポートといった新領域を展開していきます。これらを支えるのが、不動産と建築など部署の壁を越えた連携力です。毎週木曜のマッチング売買会議などで各事業が市場公開前の土地・建物情報を途切れなく共有しています。各部門が専門性を発揮しながら、お客様の要望・困りごとを先読みして解決する仕組みを確立しています。

第 3 の柱が「社員のしあわせの実現」です。週 2 回の全社朝礼や、共に考える対話の場「100 年塾」を開催し、顧客満足につながる行動を共有する「MVV 発表制度」や独自の「HQCC 社内資格制度」を運用して、自律的な PDCA を回してチャレンジできる文化を育んでいます。また科学的データ（InBody）を活用した健康促進活動により、健康年齢マイナス 5 歳を目指す職場環境づくりを推進しています。

松井産業はこれからも、「100 年の信用のバトン」を次世代へ繋ぎ、社員の幸福とお客様の幸せを両立させ、地域に本当になくならない企業として成長と変革を続けてまいります。